

令和7年度「防災と水環境」連続講演会

気候変動と風水害リスク： 防災行動を促すリスクベースのアプローチ

2025年7月18日(金) 14:40-16:50

山田 朋人

北海道大学大学院工学研究院 教授



頻発する水害や気候変動の影響に対して、地域や流域の関係者が協力し、将来を見据えながら今必要な行動をしっかりと決めることが重要です。そのためには、地域で起こりうる水害の規模や発生頻度、仕組みなどのリスク情報が大きな役割を果たします。講演者の研究では、極値統計理論と多数アンサンブルで高解像度の気候データをから、洪水リスク評価の手法を開発しています。これにより、雨の降り方から洪水の広がり、そして人的・経済的被害まで一貫してリスクを定量化できます。また、地域の様々なステークホルダーと連携し、このリスク情報を日々の防災活動に役立てる取り組みも進めています。本講演では、内閣府SIP(サブ課題B)、文科省気候変動予測先端研究プログラム(領域課題3)を含め、上記の研究について地域防災活動への活用や国際社会との連携等について紹介します。

会場とライブ配信の2方法で実施します

会場 信州大学長野(工学)キャンパス

信州大学長野(工学)キャンパス(長野市若里4-17-1)

定員100名

会場参加者用専用google formサイトにて講演会前日までに登録下さい

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf9ZZKupelzWn0C7D0gr8G-zQKaGPNObWF7mMZ1wd-MipZKow/viewform?usp=header>

会場参加専用



ウェビナー ZOOMウェビナー

定員500名

zoom参加登録サイトにて講演開始前までに事前登録下さい

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_hWONWZRwT00VL1Tn8ZdYaQ

ウェビナー参加専用



主催: 信州大学工学部水環境・土木工学科/流域治水研究センター/
千曲川流域治水研究寄附講座(日本無線)

後援: 公益財団法人西原育英文化事業団、信州大学地域防災減災センター

CPD: 土木学会継続教育(CPD)認定プログラム【JSCE25-0729, 2.0単位】

建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者は各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。土木学会で証明する単位が各団体のルールにより認められないことがあります。土木学会では他団体の運営するCPD制度に関しては回答いたしかねます。

問合せ: 信州大学工学部水環境・土木工学科 教授 吉谷純一
yoshitani@shinshu-u.ac.jp

